

令和元年度
事業報告書

自 平成31年 4月 1日

至 令和 2年 3月31日

公益財団法人福島県臓器移植推進財団

令和元年度事業報告書

1 県臓器移植コーディネーター業務

臓器移植及びアイバンク事業について、円滑な実施並びに関係機関との連携強化を図るため、県より臓器移植コーディネーター設置業務を受託し、事務局に県臓器移植コーディネーターを2名設置し、以下の事業を実施した。

(1) 臓器提供発生時対応

臓器提供対応件数：3件

①脳死下臓器提供対応1件（675例目）令和2年2月

臓器提供後、協力医療機関等にレシピエントの状況を訪問して報告した。移植後一か月報告時には、ドナー家族宅に事例担当の JOTCo とともに訪問し、レシピエントの回復状況の報告をした。その際、県警本部職員も同行して事故の報告を行った。今後もドナー家族には移植後報告を定期的に行う予定。

②心停止下臓器提供（家族説明のみ）1件 令和元年9月

看取り時間が欲しいと提供に至らず、角膜のみ提供

③心停止下臓器提供（Co 到着前に心停止）1件 令和元年11月

角膜提供件数：8件（脳死下臓器提供含む）

隣県支援依頼：2件

※他県提供臓器の緊急車両先導の搬送調整 1件、隣県の臓器提供搬送調整 1件

(2) 脳死下臓器提供可能な5類型施設、院内コーディネーターの設置された施設への訪問 院内体制整備及び臓器提供の促進や普及啓発のため、管理者並びに院内コーディネーターと面談した。

医大泌尿器科腎移植担当医を訪問し、心停止下臓器提供の対応について話し合った。

(3) コーディネーターの資質向上や情報交換を目的とした学会や研修会等への参加

公益社団法人日本臓器移植ネットワーク主催会議、研修等

- ・新規都道府県臓器移植コーディネーター研修会（令和元年6月7日）
- ・全国都道府県コーディネーター連絡会議（令和元年6月12日）
- ・2019年度第1回C級コーディネーター研修会（令和元年7月4、5日）
- ・2019年度第2回C級コーディネーター研修会（令和元年9月26日、27日）
- ・全国都道府県コーディネーター連絡会議（令和元年11月28日）
- ・2019年度ブロックミーティング（北海道・東北）（令和元年12月11日）
- ・臓器提供に係る周術期対応に関する研修会（令和元年12月14日）
- ・都道府県臓器移植コーディネーター研修会（令和元年1月22、23日）

福島移植フォーラム（令和2年2月22日）

「肺移植の革新」岡山大学大藤先生、「肝移植の最前線」京都大学上本先生
公益財団法人日本アイバンク協会主催会議、研修等

- ・北海道・東北地区連絡会、全国連絡協議会（令和元年7月26日）
- ・第37回ワークショップセミナー（令和元年7月27日）
- ・第38回ワークショップセミナー（令和2年2月1日、あっせん事例対応のため不参加）

第 100 回福島腎不全研究会（令和元年 6 月 2 日開催）

2 臓器移植及びアイバンク事業の普及啓発活動の推進

(1) ポスター、リーフレット等による普及啓発

- ・ 医療機関の協力を得て、臓器移植関連ポスター、アイバンクポスターの掲示を依頼した。
- ・ 若い世代への意思表示促進を目的として、成人の日のイベントで配布する臓器移植リーフレットの市町村への発送に協力した。
- ・ 県民、医療機関等の問合せに対応し、各種リーフレット等を送付した。
- ・ 県民向けのイベントや講演会開催の際に、パンフレット、ポケットティッシュ、クリアファイル等を配布した。

(2) イベント等での普及啓発活動

- ・ 骨髄バンクドナー登録会に参加してアイバンク登録と臓器提供意思表示の呼びかけをした。
（矢祭町 6 月 18 日、柳津町 6 月 27 日、県庁県民ホール 9 月 5 日）
- ・ ふくしま健康長寿フェスティバル 2019（令和元年 10 月 19・20 日）
福島県健康づくり推進課主催のイベントにブース出展し、各リーフレット配布と意識調査のアンケートを行った。ブース来場者 19 日 230 名、20 日 330 名

(3) 第 35 回愛護デー講演会（令和元年 10 月 8 日 ウィル福島）台風のため当日中止

(4) 臓器移植に関する県民公開講座～伝え合おう！家族と、大切な人と～

（令和元年 9 月 8 日、福島テルサ FT ホール）県民を対象に、医師、JOT、移植経験者の立場から講演していただいた。来場者には、臓器提供意思表示に関するアンケートに協力していただいた。来場者数 118 名

(5) グリーンライトアップ

臓器移植推進月間グリーンリボンデーに合わせて、鶴ヶ城は 10 月 13 日から 10 月 16 日。東北電力無線鉄塔（会津若松市、福島市、いわき市）東北電力発電所煙突（南相馬市）は 10 月 11 日から 10 月 16 日まで緑色にライトアップした。後日、民報新聞、民友新聞に記載された。

(6) FM ポコ出演（令和元年 10 月 10 日）

FM ポコ番組「MYTOWN ポコランド」に出演して臓器提供意思表示、ライトアップ、イベントの紹介をした。ユーチューブでも配信された。

(7) 移植を受けた方々の作品展（Gift of Life 展）令和元年 8 月 28 日～9 月 3 日

福島県内で移植を受けた 1 名の絵画及び全国で移植を受けた方々の絵画、書、詩などの作品 20 点を借り受け、コラッセふくしま一階アトリウムに 7 日間にわたり展示するとともに、臓器提供意思表示カード付リーフレット、think transplant（冊子）、献眼申込書付きパンフレットを設置し、県民へ移植医療への理解を啓発した。（来場者約 424 名）

※福島県内で応募された 1 名には、感謝状とキビタングッズを贈呈した。

(8) 出前講座

高校生を対象に臓器移植についての講義を行った。

福島県立安積高等学校（令和元年 7 月 24 日）

福島県立安達東高等学校（令和元年 8 月 27 日）

3 アイバンク事業

(1) 眼球提供申込者

眼球提供登録申込書の受付と眼球提供登録カードの交付

- ・眼球提供登録申込者 10名（内死後登録者名）

(2) 眼球摘出、あっせんの実施

- ・眼球提供者 8名（15眼）（前年度 4名、8眼）
- ・角膜あっせん 12眼（前年度 あっせん 5眼）
- ・強膜あっせん 0眼（前年度 あっせん 0眼）
- ・角膜あっせん要請 2眼（前年度 あっせん要請 0眼）

4 腎移植希望者に対する助成（上限 15,000 円）

- ・6名 福島県登録者数155名（2019年12月31日現在）
2020年2月に登録者2名が移植を受けた。

5 院内コーディネーター研修会の開催

(1) 第31回院内コーディネーター研修会（令和元年7月13日、NBF ユニックスビル）

「警察が行う検視等」福島県警察本部検視官 小松 義夫警視

「脳死下臓器提供の流れについて」 JOT 渡辺 勇コーディネーター（参加者34名）

(2) 第32回院内コーディネーター研修会（令和2年2月22日、ラコパふくしま）

「臓器提供を相談されたら」 県コーディネーター（参加者21名）

6 感謝状贈呈事業

- ・眼球提供者 5名

7 地域推進会議

県民に移植医療に関する意識と理解を高め、臓器提供意思表示をしてもらえるよう、財団、行政、医療機関、関連する団体との連携を図った。

- ・JOT 担当者と共に福島県警本部 捜査第一課及び交通指導課、地域企画課を訪問し、臓器提供発生事案の状況説明をし、発生した場合の対応について協力を依頼した。
- ・福島県立医科大学 院内勉強会で活動報告をした。（10月29日、2月7日）

8 役員会等の開催

(1) 理事会

第12回理事会（令和元年5月31日）

平成30年度事業報告及び収支決算を承認した。

第6回定時評議員会の開催について承認した。

第13回理事会（令和2年3月31日）書面決議

令和2年度 収支予算書を承認した。

令和2年度 事業計画を承認した。

感謝状の贈呈、資金運用の方針の変更を承認した。

(2) 監事会

第6回監事会（令和元年5月24日）

平成30年度の事業報告と収支決算について会計監査が行われた。

第7回監事会（令和2年5月21日）

令和元年度の事業報告と収支決算について会計監査が行われた。

(3) 評議員会

第6回評議員会（令和元年6月28日開催）

平成30年度事業報告をした。

平成30年度収支決算を承認した。

役員の選任について承認した。

評議員の選任について承認した。